

「東都生協50周年感謝祭 Tohto Week」第2弾に5千人が来場 ～未来へつなく～ これからの食料と農業、くらしを考える

開催 2024年2月27日～3月2日 会場 JA東京南新宿ビル

Tohto Week 第2弾は、第1弾(2023年9月26日～9月30日開催)を超える参加がありました。大盛況だった各会場の様子をお伝えします。

1 F

若手生産者による“おいしいものマーケット”を開催。産地の直売所がやってキター！では生産者8団体が自慢の産直青果を販売。試飲・試食コーナーでは、牛乳・牛肉、バナナ、コーヒーがおいしい香りを漂わせていました。来場者も思わぬ生産者との交流を楽しんでいました。抽選くじや野菜の花当てクイズなど、参加できるお楽しみもありました。



3 F

未来ひろば「SDGs交流フェスティバル」



シンポジウム

「新時代ぶっちゃけトーク」で若手生産者と消費者が意見交換 ～未来のレジェンドたちが語った！～

パネラーの平均年齢がグッと若いシンポジウム会場。コーディネーターの大倉茂氏(東京農工大学農学研究院講師)と若手生産者・職員4人の本音トークはエネルギーにあふれていました。

写真左から「祖父の味を汚したくない」と畑を継いだ茂木太資氏((農)埼玉産直センター)、「テレビでやってたけど、農業どう?」とのパートナーの一言から始まった渡邊拓海氏(JAやさと有機栽培部会)、「画面越しでなく、産地・交流訪問できっかけを作りたい」と職員という形を選んだ下田響輝氏((農)多古町旬の味産直センター)、「感覚で覚える部分が多いです」と仲間と農業を楽しんでいる加藤達也氏((有)山梨フルーツライン)。等身大で農業と向き合うすがすがしい姿が輝いていました。



あなたは違いがわかる? 「利きいちご」に挑戦!

テーブルには、お皿に盛られた6種類のいちごがスタンバイ。多くの方が参加しました。旬のあまい匂いに包まれた会場で年齢に関係なく「利きいちご」を楽しみました。



別日には柑橘食べ比べも行いました。



家庭用品見本市

おなじみの家庭用品関連メーカー10社が見本市を開催。衣料や清掃用品・化粧品に加え防災用品などを中心に、商品案内で取り上げられている家庭用品を展示。来場者からは「商品案内で見たことがある!」「今度使ってみたい!」の声が。久しぶりの組合員との交流にメーカーの方も喜んでいました。



防災用品や食品の一部が展示されていました

「みんなで楽しむSDGs 東都生協ラボ ～自由に遊ぼう～」Tohto Week交流広場“まなびのフェスティバル”

子ども26人を含む106人が参加。工作、ミニゲーム、クイズに挑戦! SDGsに関連する知識を遊びながら学びました。



14 資源の節約 水 ごみ分別さかなつりゲーム (行動目標14)



4 気候変動の防止 気候変動 今年の干支にちなんで、モールやビーズを使ってドラゴストラップ作り (行動目標4)



13 気候変動に 気候変動の防止 15 陸域生態系の保全 どんぐりでつくる森の小さな妖精たち (行動目標13、15)



完成した森の妖精

今月のつばやき

今年もまたあの暑い夏がやってくる…(汗)体調管理が難しいこの季節、諸説ありますが昔から夏の土用には「う」のつくものを食べる習慣があり、夏バテ防止にもってこいのうなぎが食べられるようになったとか。あの香ばしいたれをまとった柔らかいうなぎはきつと食欲不振を解消してくれることでしょう。今年の土用の丑の日は7月24日と8月5日。さあご家庭でおいしい東都生協のうなぎを召し上がれ!! (Y.K)

産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

お問い合わせ

共同購入事業部 組合員活動推進グループ

☎03(5374)4756 月曜～金曜日:午前9時～午後4時

E-mail: kumikatsu@tohto.coop

〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階